「電気関係学会東海支部連合大会」特集号によせて

キーワード

電子、情報、システム、東海支部連合大会

正員 宮崎保光

豊橋技術科学大学

1. はじめに

電気学会 C 部門に関係した研究活動を東海地区から情報発信し、併せて電気学会 C 部門誌の発展に寄与することを目的として、平成 7 年度から「電気関係学会東海支部連合大会」特集号を企画している。今年度も電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、照明学会、映像情報メディア学会、日本音響学会、ならびに電気設備学会の各支部の共催により、三重大学において東海支部連合大会が開催され、シンポジウムと一般講演の中から、優秀な発表を論文としてまとめていただき特集号とした。

本稿では、今年度の電気関係学会東海支部連合大会の概要を紹介し、本特集号の編修経緯について述べる。

2. 平成 10 年度電気関係学会東海支部連合大会

平成 10 年度電気関係学会東海支部連合大会（以下、連合大会と呼ぶ）は、平成 10 年 9 月 21 日（月）、22 日（火）の 2 日間、三重大学で開催された。特別講演は、演題が「御装束神宝の式年遷宮における技術伝承について」であり、講師は神宮司庁神宝装束部課長補佐の采野武朗氏であった。依頼講演のシンポジウムは以下の 6 件であった。

超高压絶縁システムの最近の諸問題<座長：沢 五郎氏（三重大学）>、放電研究の現状と新しい展開—新放電ハンドブック出版記念—<座長：松村 年郎氏（名大）>、高密度記録と符号理論<座長：鎌部 浩氏（岐阜大）>、21 世紀における移動体通信システムの開発現状と将来動向<座長：小林 英雄氏（三重大）>、インターネット/イントラネットにおける知能ソフトウェアとその応用<座長：新谷 虎松氏（名工大）>、ヒューマンインターフェースの基盤技術<座長：木村 文隆（三重大）>。

一般講演は 26 部門からなり、741 件の講演が行われた。懇親会は、9 月 21 日（月）の 18 時から三重大学の講堂小ホールにて開催された。参加者は三重大学をはじめ三重地区の企業の方々も多く参加され、大学関係者、企業からの技術者・研究者、大学院生など 150 名以上の方々により盛大に行われた。なお、電気学会東海支部では若手研究者の優秀な発表論文に対して「電気学会優秀論文発表賞 B」を与えており、今年度も電気学会東海支部通常総会において発表賞が授与された。

3. 特集号の編修経緯

電気学会東海支部の C 部門論文委員と D 部門と電子情報通

信学会のなかで関係の深い方々から、「東海支部連合大会特集号論文小委員会」を平成 7 年度に組織し、これまでの特集号を編修してきた。今年度は 4 回目であり、そのお世話を図らずも筆者が担当することとなった。論文小委員会の構成は次のとおりである（五十音順）。

植田明照（愛知工業大学）、大熊 繁（名古屋大学）、大西 昇（名古屋大学）、河野明広（名古屋大学）、藤原 修（名古屋工業大学）、細江繁幸（名古屋大学）、松井信行（名古屋工業大学）、宮崎保光（豊橋技術科学大学）。

平成 10 年 11 月中旬には、C 部門に関係の深いシンポジウム・一般講演の発表者に対して論文発表を勧誘すると共に、特集号論文募集の会告を学会誌（119 巻 1 号、平成 11 年 1 月）に掲載した。その結果、24 件（昨年度の 4 回目は 23 件、3 回目は 32 件、2 回目は 20 件、初回は 25 件）の論文が投稿され、初回とほぼ同程度の件数となった。今年度も昨年に引き続き、論文査読者の方々は、東海地区の方々に限定せず、論文内容に応じて東海地区以外の方にもお願いした。また、これまで特集号の論文採択率が低下してきたが、これは査読者の熱意の現れでもある一方、査読者の照会事項に対する著者の回答期間が長いことも一因であった。本年度では、この点を考慮して、著者からの回答に対しては迅速な再判定を査読者の方をお願いすると共に、会誌編修課の方には最終原稿の締め切りをぎりぎりまで延期していただいた。また、これまでの経験から、内容の高い研究論文が投稿されるようになりつつある。この結果、特集号に掲載の決った論文は 20 件（昨年度の 4 回目は 17 件、3 回目は 18 件、2 回目は 13 件、初回は 18 件）となり、採択率は 75%（昨年度の 4 回目は 74%、3 回目は 56%、2 回目は 65%、初回は 72%）となった。

4. おわりに

平成 11 年度連合大会の概要を述べ、特集号編修の経緯を述べた。本機会を与えて下さった C 部門編修委員会、電気学会東海支部、ご多忙中にもかかわらず熱心にご査読いただいた査読者の方々、ならびに会誌編修課の方々に厚く御礼申し上げる。

なお、平成 11 年 9 月 5 日（日）、6 日（月）に中部大学で開催された連合大会についても、平成 12 年 12 月号に向けて特集号を企画・編修の予定である。会告は、平成 11 年 11 月号に掲載されており、原稿締切は平成 12 年 3 月 24 日（金）である。東海地区の研究者、技術者の方々におかれては、奮ってご投稿下さるようお願い申し上げます。

（平成 11 年 11 月 26 日受付）

The Special Issue on the 1998 Tokai Section Joint Conference of the Seven Institutes of Electrical and related Engineers.
By Yasumitsu Miyazaki Member (Toyoashi Uiversity of Technology).